

商店街名：蟹江町商工会【蟹江町、平成 28 年度指定】

## 1 活性化モデル商店街の概要

### ●キャッチフレーズ

「こころの会話」を楽しめる街～蟹江町～

### ◎商店街の将来ビジョン

#### 【現状】

駅前を中心とした地域には、近年アパートやマンション、住宅が建設され、さらに名古屋市  
のベッドタウン化が進んでいる。

#### 【課題】

蟹江町に長年語り継がれてきた伝統や文化、商業の町として栄えてきた歴史を今一度取り戻せ  
るよう、打上げ花火形式のイベントありきではなく、真に地域が求める商店街の姿が求められる。

#### 【対策】

蟹江町の玄関口でもある、近鉄蟹江駅前周辺の活性化を中心とした新しい動き、町内の地域資  
源などを利活用した継続的事業を模索しながら、常に新しい取組みを実施していく。

### ◎具体的に取組む事業内容

#### ○げんき商店街推進事業（28 年度～32 年度）

商工会及び各地区発展会等による地域資源を活用したイベント開催などの商店街活性化事業

#### ○街路灯 LED 化事業（28 年度～32 年度）

商工会が所有し、各地区街路灯組合（各発展会）が管理する街路灯を水銀灯から LED 灯への灯  
具の取り替えを行う事業

## 2 活性化モデル商店街の実績・成果等

### ◎商店街の将来ビジョンの実績

商工会・発展会・地域団体等が連携し、大きなイベント等（例：小学校区の夏祭りに地域の発展会の出店イベント等をコラボしたもの）を毎年開催することができ、非常に大きな盛り上がりを見せたが、一過性のイベントとして終わってしまう傾向もあり、各商店街、各個店の賑わい創出に、しっかりつながったとはいえないところである。

しかし、以前に比べ、若い世代の方たちが発展会を盛り上げ、積極的に事業に参加、関連してきているため、良い方向性が見えてきていると感じる。

### ◎事業実績

#### ○げんき商店街推進事業（H28年度～R2年度）

蟹江町の商店街が、商店街のイメージアップ、地域とのコミュニティづくりを目指した事業・イベントを実施し、更には空き店舗を改装しこれを利活用した事業を実施することにより地元商店街の活性化を図った。また、コロナ禍となり、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな打撃を受けた地域経済並びに小規模事業者を立て直すため、Web や冊子を使った小規模事業者 PR 事業を実施し、今後の町内商店街の活性化へと結びつく事業

#### ○商工会活性化事業（H28年度～R2年度）

商工会、商工会各部会及び各発展会が行う活性化事業（商工会一般会計分）

#### ○街路灯 LED 化事業（H28年度～R1年度）

商工会が所有し、各地区街路灯組合（各発展会）が管理する街路灯を水銀灯から LED 灯への灯具の取り替えを行う事業

#### ○プレミアム付商品券発行事業（H28年度～R1年度）

消費者の購買意欲の向上、地域経済の活性化を図るため、10 パーセントのプレミアムを付けた商品券を発行した。（発行総額 4,400 万円、販売総額 4,000 万円、プレミアム分 400 万円）

#### ○空き店舗活性化事業（R1年度～R2年度）

空き店舗の活用促進、地域活性化のため、空き店舗対策事業として整備した店舗賃借料の一部を商工会が負担する事業

### ◎事業の効果

- ・各イベント、お祭り等に出店したことにより個店の PR、周知につながった。
- ・プレミアム商品券の町内中小店専用券を使用することにより、今まで行かれなかったお店に通ってもらえるようになったこと。

### ◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

コロナ禍以前は、げんき商店街推進事業費補助金本補助金を、各発展会、商工会の各イベント等の費用に充てていたが、この新型コロナウイルス感染症のまん延により、集客イベント等が実施できないため、「新しい生活様式に対応するテイクアウトを実施する店舗を募集し、Web 及び冊子にて紹介」、「町内の飲食店・小売店のみならず、サービス業や工業系事業者を網羅したガイドブックを製作し町内全戸配布」、「飲食店で使用できるチケットを Web 上で事前販売し、実店舗への来店を促進」事業を実施した。

## ◎その他の成果

夏休み、地域町内会等が主催した盆踊りと、夏に関する全てをコラボさせた事業において、小学校が隣接する立地条件から、校庭で行われた同日開催の「盆踊り」との連携も積極的に図ることで、集客については想定以上の結果となった。また、イベント時の売上高調査でも、過去最高益を出す店舗も多く、実店舗においてイベント後の波及効果も非常に高かった。



(げんき商店街推進事業（弁天縁日）)